

平成28年度特定非営利活動法人 地域情報モラルネットワーク 事業報告書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

平成28年度は、情報化社会の発展を図る活動5件と、社会教育の推進を図る活動5件である。これらの10件の事業は特定非営利活動に係る事業で、その他の事業はなし。

1. 事業名（定款に記載した事業）：情報化社会の発展を図る活動

(1) 具体的な事業内容：「neuis 学習会」

実施日

第1回 平成28年7月 9日（土）15：30から17：00

第2回 平成28年7月30日（土）15：30から17：00

会場：みやぎNPOプラザ第1会議室（仙台市宮城野区榴ヶ岡5）

主催：特定非営利活動法人地域情報モラルネットワーク

第1回「ネットの著作権・肖像権について」

話題提供者：ウェブアットホーム代表 三品優花氏

概要：neuis 理事長小島正美氏のあいさつから始まり、講演は、JNSA インターネット安全教室の著作権に関するビデオを閲覧後、講師三品優花氏から①インターネットで著作権と肖像権に違反しない/されないためにインターネット情報の著作権表示の見方、②公開する情報への著作権表示法の紹介、③インターネットの情報利用・情報公開の注意点についての話があった。最後にクリエイティブ・コモンズ・ライセンス(CCライセンス)マークの問題をクイズ形式で出された。クイズは4問中全問正解した人は一人だけで、なかなかネット著作権の難しさを感じた。そのあと、司会者 neuis 理事福井恵子氏の進行で、質疑応答が10分程度あり、最後に neuis 副理事長阿部伸一氏の締めあいさつで学習会を終了した。
n e u i s (Network for Ethical Use of Information in Sendai)

参加者数：9名

第2回 「スマホ・携帯・PCの子どものためのリスクアセスメント」

話題提供者：ウェブアットホーム代表 三品優花氏

講演概要：neuis 理事長小島正美氏のあいさつのあと、講演は、JNSAインターネット安全教室のリスクアセスメントに関するビデオを閲覧後、講師三品優花氏から子どもにモバイルをどのように利用させるかについて、マイナス面だけを考えるのではなく、マイナス面を克服して有効に利用させる必要があること。そのためには、子どもをリスクから守るためのリスク対策例を紹介。家族でパソコンを共有では、Win8の場合で、具体的な方法を紹介。PC・モバイルを利用する子どものためのリスク対応計画シートで、参加者が記入し発表を行いました。

そのあと、司会者 neuis 理事福井恵子氏の進行で、質疑応答が5分程度

あり、最後に neuis 理事村社勝夫氏の締めあいさつで学習会を終了した。
その後の懇親会には6名の参加で、楽しいひと時を過ごしました。
参加者数：8名
学習会の年間計画は3回予定していましたが、今回の開催は2回となりました。

(2) 具体的な事業名：「インターネット安全教室 講師トレーニング 仙台」

実施日：平成28年9月17日（土）13：30～17：30
平成28年9月18日（日） 9：30～14：45

会場：東北工業大学一番町ロビー2階（仙台市青葉区一番町1-3-1 TMビル）
主催：独立行政法人情報処理推進機構・NPO 日本ネットワークセキュリティ協会
共催：NPO 法人地域情報モラルネットワーク
受講者：20名（学生10名、neuis 会員4名、一般6名）
受講対象者：「インターネット安全教室」の講師をされる方
地域で情報セキュリティ普及啓発に関わる方
パソコン教室等で講師として活動中の方や講師を目指したい方
[概要]受講者に、講師としての知識・テクニックを習得していただく
ためのトレーニングを行った。

(3) 具体的な事業名：「インターネット安全教室」

実施日：平成28年11月5日（日）14：00～16：00

会場：東北工業大学一番町ロビー2階

主催：特定非営利活動法人 地域情報モラルネットワーク・独立行政法人 情報処理
推進機構

共催：NPO 日本ネットワークセキュリティ協会

後援：情報セキュリティ政策会議、警察庁、宮城県警察本部

従業者の数：3名（neuis から）宮城県警察本部1名

受益対象者の範囲および人数：仙台市民、宮城県民 約38名

【主催者の所感（運営・要望）】参加者は総勢で42名で、定員60名に対して70%の達成率でした。インターネット安全教室の講師は、今回、共催団体の角田裕研究室の学生さんに行っていただいた。アンケート集計できた30名の結果から、プログラムの内容の理解は97%（理解できた+ほぼ理解できた）、有意義でしたか100%（有意義+ほぼ有意義）、セミナーは有意義でしたか100%（有意義+ほぼ有意義）、警察からのお話96%（有意義+ほぼ有意義）と、とても高い評価をいただいた。質問もたくさんいただき、講師の適格な回答で、多くの受講者は満足した。宮城県警の金野氏の話は、インターネット安全教室の内容とだぶらないように工夫されて、全体にとってもよい安全教室を行うことができた。

(4) 具体的な事業名：宮城県高度情報化推進協議会助成金事業

確定助成金：47,000円

第11回情報教育シンポジウム「子供たちのネットいじめ問題」

コーディネータ：新沼史智氏（地域情報モラルネットワーク理事）

実施日：平成28年11月19日 14：30～16：30

会場：仙台市戦災復興記念館 4階第1会議室
主催：特定非営利活動法人 地域情報モラルネットワーク
後援：宮城県高度情報化推進協議会・宮城県教育委員会・仙台市教育委員会・
河北新報社・TBC 東北放送
従業者の人数：3名
受益対象者の人数及び範囲：市県民24名
18:00から交流会参加：10名

【概要】コーディネータ新沼史智氏により、第1部は木戸有香子氏（尚絅学院中学校高等学校養護教諭）、三浦聡子氏（東北生活文化大学高等学校養護教諭）により、子供たちのネットいじめの現状の事例紹介、第2部では堀野誠留氏（株式会社AXSEED）から、家庭内（学校）でのスマホ利用のルール作りについての重要性について、実演も含めて行われ、後半では会場の皆さまとのディスカッションが行われた。

【成果】

アンケートの結果、第1部、2部とも高評価が得られ、また、開催して欲しいという要望もみられた。

(5) 具体的な事業名：地域からの要請による情報教育事業

平成28年度塩釜地区学校警察連絡協議会第1回幹事会
講話：児童生徒のSNS利用の問題点
講師：小島正美（neuis理事長）
日時：平成28年7月4日（月）14:15～15:05
場所：塩釜市公民館 大会議室
対象：塩釜地区学校警察連絡協議会 会員 約50名
概要：子どもたちが、SNSを利用するにあたり注意しなければならないことや、子どもたちを指導する立場の方が、どの様なことに注意しなければならないか、スマホに対するフィルタリング機能などについて具体的に解説しました。

平成28年度仙南地区高等学校生徒指導連絡協議会 第3回例会
演題：SNSを利用した事件の防止や対策について
講師：小島正美（neuis理事長）
日時：平成28年度11月25日（金）15:00～16:00
場所：宮城県柴田農林高等学校
受講者：25名（高校教員21名、仙南地区警察署生活安全課4名）
概要：高校生は1人1台のスマートフォンを利用するにあたり、ワンクリック詐欺や有料サイトへの勝手な登録により、不当な請求被害にあっている。SNSで大切な個人情報が公開され、プライベートな写真が公開されたり被害にあっている。どのようにしたら、被害にあわないように子どもたちを守ることができるか、事例を入れて、参加者と一緒に考えました。

平成28年度宮城県白石工業高等学校PTA役員研修会

演題：高校生をとりまく情報ネットワークの実情について
講師：小島正美（neuis理事長）
日時：平成29年2月11日（土） 9：30～10：30
場所：宮城県白石工業高等学校 視聴覚室
対象：白石工業高等学校PTA役員 約60名
概要：高校生が、SNSをどのように活用しているかを、統計データをもとに説明し、そのなかで、どのようなトラブルにあっているかを解説。これらのトラブルから守るためには、家庭でのコミュニケーションがとても重要で、地域、学校、家庭が連携して、高校生がトラブルにあわないようにすることが大事であることを確認しました。

以上の講演につきまして、いただいた講師謝金は、理事長からの寄付としてトータルで4万円をneuis会計に計上しています。

日時：平成29年3月15日（水）15：00～16：00
場所：登米市立中田中学校 体育館
対象：中学1年生および保護者 180名（生徒140名+保護者40名）
演題：SNSの正しい利用法について
講師：小島正美（neuis理事長）
概要：近年、LINE, Twitter, FacebookといったSNS（Social Networking Service）の利用が急速に増加しています。SNSで大切な個人情報公開され、プライベートな写真が公開されるなどの被害も増えています。どのようにしたら、インターネットトラブルから身を守ることができるかを、ビデオ映像を使いながら解説しています。

本講演につきましては、法人会計として受託謝金（受取事業収益金）10,000円として、計上しています。

補足説明：児童・生徒におけるインターネット上でのトラブルが増加してきています。それに伴い、地域からの講演依頼などが今後、増加することとなると思います。依頼を受けるにあたっては、当NPO団体の定款に記載している事業活動のなかで、法人会計処理として、受託していきたいと思っております。

2. 事業名（定款に記載した事業）：社会教育の推進を図る活動

（1）具体的な事業名：平成28年度「第1回全国連絡会議」に参加

平成28年6月初めに東京でJNSAの全国連絡会議が開催され、neuisから小島事務局が参加しました。交通費は主催者IPA, JNSA側で負担。

日時：平成28年6月3日（金）13：30～17：00

会場：TKP品川カンファレンスセンター4階会議室

東京都港高輪3-26-33 京急第10ビル

演題：東京オリンピック・パラリンピックのセキュリティ状況

講師：東京オリンピック・パラリンピック大会、テクノロジーサービス局

サイバーセキュリティ部 部長 居林宏明氏

演題：実は誤解だらけのスマホのフィルタリング

講師：デジタルアーツ株式会社 工藤陽介氏

グループ討論と発表
17：30～懇親会、意見交換

(2) 具体的な事業名：平成28年度「第2回全国連絡会議」に参加

平成29年2月に東京で JNSA の全国連絡会議が開催され、neuis から小島事務局が参加しました。交通費は主催者 IPA, JNSA 側で負担。

日時：平成29年2月20日(月) 13：30～17：00

会場：フクラシア東京ステーション 5階K会議室

東京都千代田区大手町2-6-1

朝日生命大手町ビル

今年度の報告

共催団体の活動事例紹介

演題：「いますぐ活用！」最新 Windows&Office セキュリティ機能活用ツボ

講師：日本マイクロソフト株式会社 セキュリティプログラムマネージャ
村木由梨香氏

(3) 具体的な事業名：neuis 広報

エフエムたいはく 鈴木はるみのソーシャルで行こう！

平成28年11月15日 午後8時から8時30分

neuis の活動について、理事長がインタビューが on Air された。



(4) 具体的な事業名：サイバー防犯ボランティア

実施日：平成28年後半 約2か月間

複数名の会員により、サイバーパトロールをし、児童の被害防止となるように、あらかじめ、宮城県警察本部サイバー犯罪対策室から、サイバーボランティアの通報要領についての説明を受けて実施。

平成29年2月24日、宮城県警察本部4階大会議室で、宮城県警察本部より地域情報モラルネットワークとして、感謝状の贈呈をいただきました。

(5) 具体的な事業名：日本コミュニケーション学会平成28年度東北支部定例会で

発表

実施日：平成29年3月11日 13:00～16:00

会場：東北工業大学長町キャンパス4号館大講義室

仙台市太白区二ツ沢6番

発表タイトル：オブジェクト指向コミュニケーションモデルの一考察

ー 児童における「いじめ」について その2ー

発表者：小島正美 (NPO 法人地域情報モラルネットワーク)

会場は仙台なので、旅費不要

[概要] 児童・生徒におけるいじめ問題は、インターネット社会になり「ネットいじめ」という陰湿ないじめがあとを絶たない。「ネットいじめ」は、通常の対話とは異なる特徴がある。実態にあわせたモデルを考えるために、オブジェクト指向のクラスという概念を用いて「ネットいじめ」のメカニズムを簡素化したモデルを考える。簡素化したモデルにおいて、「いじめ」問題を解決する方法として、教育現場での情報の共有化があげられる。その対策にICTを活用した教員間の情報共有の仕組みと、教員間のコミュニケーションを円滑にする仕組みを提案しました。

補足説明

当NPO団体では、情報モラルを子どもたちの心の問題からも分析していきたいと考えています。そのために、関係する学会で当NPO団体のメンバーが発表していくことは、社会教育の推進を図る活動として、取り組んでいきたいと思っています。

以上